



全国交流集会であいさつする被災者の代表(10月7日蔵王町)

大震災と被災者の実態を風化させるな

被災者支援の声 国に

全国交流集会ひらかれる

東日本大震災と原発事故の被災者本位の復旧・復興をめざす「全国交流集会」が10月7、8日、蔵王町内で開催され、全国から260人が参加しました。主催は、災害被災者支援と災害対策改善を求める全国連絡会(全国災対連)などをつくる実行委員会です。全国災対連代表世話人の大黒作治全労連議長は「大

震災と被災者の厳しい実態を風化させない世論をつくらう」とあいさつしました。被災3県の代表が現状と課題を報告しました。

京都大学大学院の岡田知弘教授が「被災地復興をめぐる二つの道」『惨事便乗型』復興から『人間の復興へ』と題して記念講演。

被災者の生存権を基本においた「人間の復興」への転換が必要だと訴えました。地元蔵王町の村上英人町長、日本共産党の高橋ちづ子衆院議員があいさつをしました。

同交流会では、9つの分科会が開かれました。

「生活再建」国の支援金少なすぎ

「生活再建」をテーマにした分科会で、国の生活再建支援金(全壊で最大3百万円)が少なく、住宅再建の足かせになっていることが話題となりました。

岩手県は自治体と協力し、国の支援金の他に最大で100万円を上乗せする一方、宮城県と福島県では同様の取り組みが進んでいません。

岩手県陸前高田市の伊勢純・日本共産党市議は、宅地取得、取り付け道路、水道整備など、国の支援金や県の上乗せとあわせて約

「雇用と地域経済」復興関連で違法労働横行

「雇用と地域経済」を議論した分科会では、被災地の劣悪な雇用環境が次々と報告されました。▽埼玉県内で被災地に仕事がある

と誘われ、がれき処理の仕事に就いたが、待機ばかりで収入がない▽賃金を2カ月ももらっていないなどの事例があげられました。

被災地の地方議員らも「建設・土木の求人だけの極端な状況。失業給付の延長を打ち切れ、被災者は貧困に陥っている」(日本共産党のふなやま由美・仙



毎月25日
月1回発行
定価 100円
発行所
新みやぎ社
日本共産党
宮城県委員会
機関紙発行所
仙台市青葉区一番町
一丁目12-25
電話(022)267-1511
http://www.jpcc-miyagi.net/

日本共産党各地区委員会
仙山西地区委員会 (022) 225-2920
仙台東地区委員会 (022) 372-2604
塩釜地区委員会 (022) 364-3222
東部地区委員会 (0225) 22-6335
仙南地区委員会 (0223) 22-4036
北部地区委員会 (0229) 22-1252

自民系の会派が右傾化 領土問題の意見書を可決強行

宮城県議会は議会最終日の10月11日、自民党・県民会議提出の竹島や尖閣の領土問題などの意見書3本を可決しました。日本共産党県議団は、各意見書に反対し、討論しました。

「李明博韓国大統領の言動に抗議し、対韓外交等の見直しを求める意見書」に対して、遠藤いづみ県議は、「(領土問題は)過去の植民地支配の真摯な反省に立つてこそ、冷静な外交交渉で解決を図ることができると指摘。『感情的な対応で緊張をエスカレートすることとは双方が自制すべきだ』と主張しました。また、遠藤県議は、同意見書の文言を自ら閉ざす結果となつて

にある「強制連行された被害者に対して国として補償すべき『従軍慰安婦問題』は存在しなかった」との記述に対し、1993年の河野洋平官房長官(当時)の談話や2007年の米下院での決議をあげ、「意見書には)重大な事実誤認がある」と厳しく批判しました。

「中国の監視船の領海侵犯及び民間団体による尖閣諸島不法上陸に関する意見書」については、横田有史県議団長が反対討論しました。

「領土問題は存在しない」として、あらゆる外交交渉を回避する態度をとり続けられてきたことが問題解決の道を自ら閉ざす結果となつて

いる」と指摘し、領土問題の存在を認め、冷静で理性的な外交交渉で日本領有の正当性を主張し、解決を図るべきだと訴えました。

「台湾出身者の国籍表記の是正を求める意見書」について、三浦一敏県議は、「二つの中国」の立場を否定し、国際連合をはじめ国際社会の合意に反するとして反対しました。

いずれの意見書も自民党やみんなの賛成多数で可決。日本共産党、改革みやぎ、社民党は3意見書に反対、公明党は尖閣問題の意見書に賛成しました。

党県議団は前日、「意見書案提出は全会一致が原則

起こつた場合、地域の存続にかかわる極めて深刻な被害を受ける」と指摘。同原発の再稼働を行わないことを強く求めています。

仙台市 国保への独自補助ゼロに 国保の負担軽減を

仙台市の国保会計への仙台市の補助が今年度からゼロにされていることが、ふなやま由美日本共産党仙台市議の追及で明らかになりました。市独自の補助がなくなるのは、かつて無かったことです。東日本大震災の被災者への救援に全力をあげることが求められてい

るもので、それと逆行する行為と言えます。

日本共産党ふなやま由美市議は、9月25日の仙台市議会の決算審査特別委員会で、この問題を追及しました。仙台市の健康福祉局は、補助をゼロとしたことについて「国の財政支援措置44億円があったので、補

下げようとしなさい。考えを変えるべきだ」と追及しました。

さらに、ふなやま市議は、仙台市が、保険料が免除された被災者に対し、義援金支援金を受け取ったからとして、過去の保険料滞納分の取り立てに走つたことを指摘。「支援金は生活再建のためのお金」「義援金は、全国から寄せられた善意のお金」だとして、「それを取り立てるのは間違いだ」と追及しました。

女川原発 再稼働ノー 東松島市議会が意見書

東松島市議会は10月4日、東北電力女川原子力発電所(女川町・石巻市)の再稼働を行わないことを求める意見書を可決しました。

日本共産党の長谷川博市議が提案し、賛成12、反対7、白票1で可決しました。

意見書では、同市が女川原発から30キロメートル圏内に位置し、「重大事故が

名取市議会 オスプレイ配備の撤回を求める 意見書を採択

宮城県の名取市議会は9月28日、「垂直離着陸機M22オスプレイの那覇軍港への一時配備及び米軍普天間飛行場への配備計画の撤

回を求める意見書」を採択しました。日本共産党の大沼宗彦、小野寺美穂の両議員が提案したものです。

意見書は、「世界一危険な普天間基地」に欠陥機を配備すること、低空飛行訓練により「被害を沖繩だけでなく全国に広げる」危険は見逃ごせない」と指摘。「日本国民の生命と財産、日常生活の安全と安心を守る立場から日米両国政府に怒りを込めて抗議し、計画撤回を求めています。

仙台市議会も10月5日、オスプレイについて、安全確保を求める意見書を採択しました。

市民からも批判
議会を傍聴した同会共同代表の青柳優子さんは「外交的国際的感覚が非常に欠如している。あまりにも議員が不勉強なことに驚いた」と語り、同会事務局長の戸葉子さんは、「日本軍『慰安婦』問題は)被害者・加害者双方の証言も多く出され、世界中が知っている。こんな意見書が県民の意見として出されると思うと非常に恥ずかしい」と憤りました。

だ」として、自民党に3意見書案の撤回を申し入れ、「日本軍『慰安婦』問題の早期解決をめざす宮城の会」も10月11日、各会派を回り、李大統領の言動に抗議する意見書案の撤回や反対を求める要請をしました。

特集

宮城県における「がれき処理」の現状と課題

早く・安全に・地元力アップを原則に

ゼネコンのもうけ優先の見直しを

日本共産党宮城県委員会 斎藤 晃氏

県内のがれき処理をめぐる、この間、様々な動きがありました。そこで、がれき処理の現状と課題について、日本共産党宮城県議団事務局の斎藤晃氏に聞きました。

東日本大震災で発生した がれきは、その基大さと合 わせ、津波被害や原発事 故による放射能の影響な ど、これまでの災害廃棄物 とは異なる特徴を持ってい ます。党議団は、最初の 石巻ブロックの契約議案の ときから、「膨大ながれきを 一日も早く処理すること は復興への大前提」と位置 付け、早く・安全に・地元 力アップを原則に処理する

ことが重要と考えてきまし た。 環境省が公表している 「沿岸市町村の災害廃棄物 処理の進捗状況」(平成24 年8月31日)によれば、岩 手県が20・5%、宮城県が 27・6%、福島県が14・5% で被災三県合計では24・ 5%です。県内には、 表1に示すように、仮設焼 却炉29基が稼働する予定で す。しかし、広域化とゼネ コン頼みにこだわり、処理 全体が遅れました。

1、宮城県のがれき処理をめぐる 経過と8つの問題

第七に、がれき総量の大き な見直しがあったにもかかわら ず、広域処理の見直しをしな かったこと。 第八に、放射能問題に對する 国の姿勢が問われている。今 回のがれき処理で、百バケレル以上の廃棄物は ドラム缶に入れ、完全に密封 保管するといった処理がなされ ませんでした。放射能の不安にま とともに答えられないまま広域処理をがむしやうに進めてきた政府の態度は、全国に 限らない混乱を持ち込みました。

横田有史県議団長は今年 の6月県議会の一般質問で、宮城県のがれき処理をめぐ る問題を8つの角度から明らかにしました。

第六に、広域化と大手依存で 処理の大きな遅れをつくら せたこと。県内には、表1に示すように、仮設焼却炉29基が稼働する予定で す。しかし、広域化とゼネコン 頼みにこだわり、処理全体が 遅れました。

第一は、震災直後に仙台以外の がれき総量は1515万4千トン、処理費用は5313億円とされる。ペーパーが 出回り、これが 惨事便乗型でゼネコンが 「活躍」する基礎となったこと。 第二に、曲折はありまし たが、ほぼ談合情報通りの 契約となったこと。環 境省とスーパーゼネコンが 話し合い、表1の通り見事な 談合ぶりを示すものとな りました。

第五に、がれき処理の現状と課題について、 1500点以上とされ、全 国で48社、宮城ではユア テックのみです。結局、県内では一社も代表企業にな れない異常な発注劇が演じ られました。

第四に、はじめから県外 処理に頼るゼネコン提案が 当然視されたこと。石巻ブ ロックは、がれきの約4割を 県外処理するというものでした。 県は環境省に西日本以降での処理は放射 能問題もあって困難と報告 しながら、議会にはあつかも 実現可能であるかのよう に偽った対応をしていまし た。

第六に、がれき総量の大き な見直しがあったにもかかわら ず、広域処理の見直しをしな かったこと。 第八に、放射能問題に對する 国の姿勢が問われている。今 回のがれき処理で、百バケレル以上の廃棄物は ドラム缶に入れ、完全に密封 保管するといった処理がなされ ませんでした。放射能の不安にま とともに答えられないまま広域処理をがむしやうに進めてきた政府の態度は、全国に 限らない混乱を持ち込みました。

第三に、それを支えた不 透明な審査と異常な議会对 応があったこと。県土 木部予算の倍にも匹敵する 石巻ブロックの約2千億円

第五に、がれき処理の現状と課題について、 1500点以上とされ、全 国で48社、宮城ではユア テックのみです。結局、県内では一社も代表企業にな れない異常な発注劇が演じ られました。

第五に、ゼネコン丸投げ の仕掛けが巧妙に仕組ま れたこと。代表企業 は、建設業の総合評価値が のように述べました。

第六に、がれき総量の大き な見直しがあったにもかかわら ず、広域処理の見直しをしな かったこと。 第八に、放射能問題に對する 国の姿勢が問われている。今 回のがれき処理で、百バケレル以上の廃棄物は ドラム缶に入れ、完全に密封 保管するといった処理がなされ ませんでした。放射能の不安にま とともに答えられないまま広域処理をがむしやうに進めてきた政府の態度は、全国に 限らない混乱を持ち込みました。

第四に、はじめから県外 処理に頼るゼネコン提案が 当然視されたこと。石巻ブ ロックは、がれきの約4割を 県外処理するというものでした。 県は環境省に西日本以降での処理は放射 能問題もあって困難と報告 しながら、議会にはあつかも 実現可能であるかのよう に偽った対応をしていまし た。

第七に、がれき総量の大き な見直しがあったにもかかわら ず、広域処理の見直しをしな かったこと。 第八に、放射能問題に對する 国の姿勢が問われている。今 回のがれき処理で、百バケレル以上の廃棄物は ドラム缶に入れ、完全に密封 保管するといった処理がなされ ませんでした。放射能の不安にま とともに答えられないまま広域処理をがむしやうに進めてきた政府の態度は、全国に 限らない混乱を持ち込みました。

第二に、曲折はありまし たが、ほぼ談合情報通りの 契約となったこと。環 境省とスーパーゼネコンが 話し合い、表1の通り見事な 談合ぶりを示すものとな りました。

第六に、がれき総量の大き な見直しがあったにもかかわら ず、広域処理の見直しをしな かったこと。 第八に、放射能問題に對する 国の姿勢が問われている。今 回のがれき処理で、百バケレル以上の廃棄物は ドラム缶に入れ、完全に密封 保管するといった処理がなされ ませんでした。放射能の不安にま とともに答えられないまま広域処理をがむしやうに進めてきた政府の態度は、全国に 限らない混乱を持ち込みました。

第三に、それを支えた不 透明な審査と異常な議会对 応があったこと。県土 木部予算の倍にも匹敵する 石巻ブロックの約2千億円

第六に、がれき総量の大き な見直しがあったにもかかわら ず、広域処理の見直しをしな かったこと。 第八に、放射能問題に對する 国の姿勢が問われている。今 回のがれき処理で、百バケレル以上の廃棄物は ドラム缶に入れ、完全に密封 保管するといった処理がなされ ませんでした。放射能の不安にま とともに答えられないまま広域処理をがむしやうに進めてきた政府の態度は、全国に 限らない混乱を持ち込みました。

第五に、ゼネコン丸投げ の仕掛けが巧妙に仕組ま れたこと。代表企業 は、建設業の総合評価値が のように述べました。

第六に、がれき総量の大き な見直しがあったにもかかわら ず、広域処理の見直しをしな かったこと。 第八に、放射能問題に對する 国の姿勢が問われている。今 回のがれき処理で、百バケレル以上の廃棄物は ドラム缶に入れ、完全に密封 保管するといった処理がなされ ませんでした。放射能の不安にま とともに答えられないまま広域処理をがむしやうに進めてきた政府の態度は、全国に 限らない混乱を持ち込みました。

「可燃物の広域処理につ いてはほぼ目的が立ちまし た」と答えていることも紹 介し、知事の決断をあらた めて求めました。

知事は、ついに北九州市 との契約変更があらうこと を認め、以下のように答 えました。「もうこれ以上 お願いしなくても大丈夫だ という目的が立ってくれ ば、その時には御礼を言 いながら、『結構でございま す』ということがあるかも しれません」

さらに横田議員は、所管 の環境生活農林委員会での 質疑でも、北九州市への輸 送に海上保安庁などが厳重 な警備をしている異常な光 景を指摘しつつ、できるだ け早い時期に見直しを決断 するよう求めました。本木 隆環境生活部長は「わかり ました」と答えています。

この間、宮城県は広域処 理の協力を検討していた大 分県や愛知県などには丁重 にお断りをするなど、費用 対効果なども考慮に入れた 慎重な対応をしてきまし た。北九州市とは来年3月 末までの契約で、石巻分 のがれき2万3千トンを処理 してもらうことになってい ますが、1トン当たりの処 理単価が約2万7千円に對 し、輸送費が約5万円です から、県内処理すれば約 1万5千円程度の単価で済 みます。たとえ全額国費だ からと言っても、国民に復 興増税までして生み出した 財源の使い方として、はた して適切かどうかなど、多 くの方々が素朴に疑問を持 つのは当たり前です。来年 4月以降、北九州市が年 間処理可能量としている 3万9千5百トンをあらた めて契約するかどうか、 県議会の議論もふまえて注 視していく必要があります。

「私も日本共産党は、 北九州市をはじめ全国各地 で広域処理の要請を受けと めて、協力していただい て いる自治体、住民のみなき んに、あらためて感謝の意 を表するものです。知事と しても……礼節を尽くして 感謝と謝意を届けるべきで あります。同時に、がれき の総量が大幅に減ったも とで、……広域処理を行わな いでも済む方向を知事が決 断すべき時期です」

横田議員は引き続き、9 月県議会の予算特別委員会 の総括質疑でも、党議団 の調査に石巻市が文書

で「可燃物の広域処理につ いてはほぼ目的が立ちまし た」と答えていることも紹 介し、知事の決断をあらた めて求めました。

知事は、ついに北九州市 との契約変更があらうこと を認め、以下のように答 えました。「もうこれ以上 お願いしなくても大丈夫だ という目的が立ってくれ ば、その時には御礼を言 いながら、『結構でございま す』ということがあるかも しれません」

さらに横田議員は、所管 の環境生活農林委員会での 質疑でも、北九州市への輸 送に海上保安庁などが厳重 な警備をしている異常な光 景を指摘しつつ、できるだ け早い時期に見直しを決断 するよう求めました。本木 隆環境生活部長は「わかり ました」と答えています。

この間、宮城県は広域処 理の協力を検討していた大 分県や愛知県などには丁重 にお断りをするなど、費用 対効果なども考慮に入れた 慎重な対応をしてきまし た。北九州市とは来年3月 末までの契約で、石巻分 のがれき2万3千トンを処理 してもらうことになってい ますが、1トン当たりの処 理単価が約2万7千円に對 し、輸送費が約5万円です から、県内処理すれば約 1万5千円程度の単価で済 みます。たとえ全額国費だ からと言っても、国民に復 興増税までして生み出した 財源の使い方として、はた して適切かどうかなど、多 くの方々が素朴に疑問を持 つのは当たり前です。来年 4月以降、北九州市が年 間処理可能量としている 3万9千5百トンをあらた めて契約するかどうか、 県議会の議論もふまえて注 視していく必要があります。

「私も日本共産党は、 北九州市をはじめ全国各地 で広域処理の要請を受けと めて、協力していただい て いる自治体、住民のみなき んに、あらためて感謝の意 を表するものです。知事と しても……礼節を尽くして 感謝と謝意を届けるべきで あります。同時に、がれき の総量が大幅に減ったも とで、……広域処理を行わな いでも済む方向を知事が決 断すべき時期です」

横田議員は引き続き、9 月県議会の予算特別委員会 の総括質疑でも、党議団 の調査に石巻市が文書

3、宮城県におけるがれき処理の 今後の課題

まず、以下の方向で県内 処理の拡大に全力をあげる ことが重要です。

① いっそう分別を徹底 し、リサイクルに回せる量 を拡大すること。

② 県内の仮設焼却炉およ び既設も含めた活用と連携 を図ること。

③ 県議会議員五十九名全 員が参加する「いのちを守 る森の防潮堤推進議員連 盟」の活動を進め、がれき の将来に向けた活用を具 体化する。

④ 県の外郭団体である 環境公社が管理運営する 小鶴沢最終処分場はまだ 115万トンの余裕があ

あった契約変更が必要とす。 石巻ブロックは、総量が 64%も減ったにもかかわらず、現場管理費や広域のた めの輸送費(1トン当たり 約6万円)を高め設定す るなど、契約金額は23%し か減額しないというざん ますしや無駄づかいを許さ ない監視が必要です。

第三に、がれき処理はゼ ネコンのもうけのために行 われるのではなく、震災復 興につながるように、地元 企業や地元雇用を重視して 進める必要があります。

また、がれき処理で働く 労働者の健康管理および生 活と権利を守ることが、こ れからますます重要になっ ていくと思います。

第二に、がれきの総量の 大きな変化にともない、そ れぞれの処理区の実態に

まず、以下の方向で県内 処理の拡大に全力をあげる ことが重要です。

① いっそう分別を徹底 し、リサイクルに回せる量 を拡大すること。

② 県内の仮設焼却炉およ び既設も含めた活用と連携 を図ること。

③ 県議会議員五十九名全 員が参加する「いのちを守 る森の防潮堤推進議員連 盟」の活動を進め、がれき の将来に向けた活用を具 体化する。

④ 県の外郭団体である 環境公社が管理運営する 小鶴沢最終処分場はまだ 115万トンの余裕があ

また、がれき処理で働く 労働者の健康管理および生 活と権利を守ることが、こ れからますます重要になっ ていくと思います。

第二に、がれきの総量の 大きな変化にともない、そ れぞれの処理区の実態に

まず、以下の方向で県内 処理の拡大に全力をあげる ことが重要です。

① いっそう分別を徹底 し、リサイクルに回せる量 を拡大すること。

② 県内の仮設焼却炉およ び既設も含めた活用と連携 を図ること。

災害廃棄物処理業務(県受託分)の契約および総量の変遷について(表1)

(環境生活部の資料をもとに県議団事務局が作成した資料)

Table with 8 columns: ブロック, 処理区, 受託JV, 議会議決日, 契約金額, 契約時総量, 見直し後総量, 仮設焼却炉, 契約変更額. Rows include 石巻, 亘理名取, 宮城東部, 気仙沼, and a total row.

(注1) 表中の「総量」とは、災害廃棄物の量と津波堆積物の量を合計したものです。(注2) 津波堆積物は契約時の体積(m³)に1.46をかけてトン換算したものです。(注3) がれき総量の見直しは直近の7月時のものを使ったが、石巻・亘理は契約変更時の数値です。